

第1回 健全育成分科会 議事録

分科会：第2分科会「自己肯定感の醸成」

作成者：吉井（サブリーダー）

開催日：2018/8/25（土）14：20～16：30

会 場：産業貿易センタービル地下会議室

参加者：保土ヶ谷（2）、瀬谷、多摩、住吉、平塚中等教育（2）、伊志田、上溝南、鶴見総合、高P連（3） 計13名

議 題：自己肯定感について

【内 容】

- ・昨年度の反省...PTAとして親の自己肯定感を上げる目標を設定したが、現場に下ろすことまでに至らず。ゴールを定めずに突っ走った感がある。

- ・講師の人選に関しては、メンバーで情報交換し、調査。そのためにもLineが最適

- ・新メンバーもいる中、自己肯定感の解釈もそれぞれであるが、位置づけを確認する後ろ盾として、講演を聴いたり、勉強していきたい。また、県大会でも、このテーマで何らかの形で展開したい。

一方で、県大会までは期間が短いので、次回の研修大会をゴールと設定するのはどうかという意見もあったが、研修大会についてはテーマ含め開催そのものについても未だ不確定であるため、いまのところ難しい。

昨年の反省から、ゴール地点をどこに据えるかが大事であると、昨年度のメンバーから意見があった一方で、本日のように、引き続き会員の体験談や情報などに基づいた、自己肯定感の解釈について、いろいろ話したいという意見もあった。

- ・不登校や中退する子供の心身の状態も千差万別で、そのような立場の子供が、必ずしも自己肯定感が低いとは限らないので、親の対応力がついていけない状況がある。世代・時代的に、「コーチング(上から指導する)」→「ティーチング(一緒に学び成長する)」へ移行していることを、親も認識する必要があると感じている。

- ・メンバーの思う自己肯定感について

- ＊自己受容...だめな自分を受け入れ、否定せず、許すことから、肯定につなげる。それには周囲の環境が大事。自分が必要とされ、役割を担っている存在だ

ということを認識する。

*親として子供に対して、「諦めていない」こと。

まだ咲いていないだけ。少なくとも「死」を選ばないでほしい。

*ある程度周囲の人間の価値観や、アドバイスが同じ方向であることが重要で、違っていると受け入れるのが難しいと思う。が一方で、多くの人とかかわってほしいという思いもある。

決定事項：・自己肯定感が低い親に対してのアプローチを考えていきたい。
・昨年度体験したようなギフトトレーニングについて、本年度メンバーから興味がある、体験してみたいとの意見があり、講師とコンタクトを取ってみることとなった。

次回予定：日時 9月中旬(講師の予定が決まり次第)
会場 未定
内容 ギフトトレーニング or 講演

追記事項(8月末現在)

講師候補

- 1 平 美和さん
- 2 吉井 奈々さん
- 3 後藤 健夫さん

以上